

支持の團體協約締結の爲に東交の全機能を擧げて猛烈なる運動を起さんとするものである。

團體協約要綱

一、市電従業員は原則として東京交通労働組合員たること。
二、市は東京交通労働組合を公認し、團體交渉権を確保する責任を負ふこと。

三、市電、東交、双方より同数の委員を擧げて共同委員会を組織し従業員の待遇問題一切を協議決定すること。

四、共同委員会は×年一回×月之を開催し労働条件に關する諸問題を再協議決定すること。

五、市電は本協約締結期間中に於ては労働条件の低下、並に賃金等は一切行はざること。

六、東京交通労働組合は本協約締結期間中は産業平和を提議し、暴行等を行はざること。

七、東京交通労働組合は本協約締結期間中は産業平和を提議し、暴行等を行はざること。

八、市電は當局對東交の査問委員会に於て協議決定するにあらざれば當局による職首は行はざること。

以上、

組合内部の充實強化

幾多の輝ける闘争経歴をもつ我東京交通労働組合も、最近組織統制に於て稍々弛緩し威力昔日の感なきに至れるは誠に悲しむべき現象である。

當局の果しなき彈壓と之を通じて行はれた内部提議の奸策は非乗務部の一部を未組織状態に還元せしめ馬場、宮井、伊

徒輩の主張は必ずしも一致するものではないが労働者の階級的對立の事實と必然性を否定して、労働者階級の解放運動と尖鋭に對立し、労働者階級を資本家の壓迫と搾取に屈服せしめ以て資本主義を維持せんとする點に於ては共通してゐる。彼等は口には國民解放を唱へ國家の改造を主張すると雖も彼等の言ふが如きお伽噺の傳説や、國民の九割九分を占める労働者農民は今飢餓に瀕してゐる此の労働者農民を現在の窮狀より救ひ出すことなしには國家は絶対に改造されないのだ。

見よ！彼等の現實の行動が如何に露骨に資本家の提灯を持ち労働者の解放運動を妨害してゐるかを！
東京市電内に於ても罷業破りの常習犯たる所謂四元老は第二更生案を前にして日本交通俱樂部、日本交通従業員組合なるものを作り電氣局と提携し、その傀儡となつて交納からフアツシヨで除名されて今ルンペンしてゐる關西の菅、桑田等と聯絡をとりて東交の各職場へ魔手を延ばし東交の運動を妨げつゝあるではないか。

勿論我東交は思想團體でもなく政治團體でもない、従つてイデオロギイ的には規定してない事は云ふまでもないが、少くとも従業員の利益を護る爲には生死を賭しても闘はんとする所い、階級性を持つ點に於ては完全に意見が一致する組合である。故に労働者の利益を資本家に賣り付けたとするフアツシヨの如きものは獅子身中の蟲として常に彼等の正體を白

蘇、濱田、の裏切り行爲は延いて少數なりとは言ひ組織外の存在たらしむるに至り（昭和五年四月のストライキが因縁に於て今年一月行はれたスピードアップ反對闘争を通じて内部抗争が激成し遂に自動車部及び電車三支部に對して本部の統制意の如く行はれざる状態を出現するに至つた。
之等の原因と必然性に就ての批判は略く持くが同一資本系統内に於て労働者同志が、相反目し合つて闘争力を分散せしめる結果如何に不利であるかは過去の事實が明瞭に證明してゐる。
全大衆の利益を双肩に擔つて頭迷なる當局と戦はんとする我々は先決問題として陣容を整備統一し以つて組合の強化を計らねばならぬ。
その爲には大衆の壓力を以つて未組織職場の大衆に働きかけこれを組合に加入せしむると共に幹部間の虚心坦懐なる協力によつて電車部、自動車部、非乗務各部の大衆を下からガツチリと提携統一させるべく努力すべきだ。斯くすることによつてのみ大衆の熱烈なる要望であつた東交の統一強化が完成されるのである。

フアツシヨ粉碎

資本主義崩壊の危機迫ると滿洲事變をめぐり國際外交の惡化は必然的にフアツシヨの擡頭を促進せしめ××を中心として既成政黨、無產政黨、労働組合その他あらゆる階級層を横斷的に暴れ廻つた。
かくて簇生したフアツシヨ團體？は大小無數に上る。此の

日下に暴露し以つて根柢い大衆の壓力で排撃掃蕩しなければならぬ。

日本交通労働總聯盟の擴大強化

日本交通労働總聯盟の擴大強化は、交通トラストが結成された今日、之と對抗し絶対に必要であり、此の産業別組合が完全に結成された時にのみ我々交通労働者の生活権が確保されるのである。
かく重大なる問題であるが故に積年の宿題として我々交通労働者の頭上に課せられてゐるのだ。

然るに此の運動も遅々として進まず尙る後退的感さへあるのである。嘗つては六大都市々電を中心として東京、大阪の各郊外電鐵の労働者を抱擁し更に北海道へまで組織を擴大し四十萬に餘る陸上交通労働者を打つて一九とする日も遠い將來ではあるまいとまで思はれたのに、豈計らんや、經濟的危機に瀕した交通資本家の死物狂ひの猛烈に逢つて組織の弱い組合は片づ端から破壊せられ、現在に於ては幾かに東京、大阪、神戸三都市々電の労働者によつて死守されてゐるに過ぎない状態である。

最近交通産業トラストは組織ある統制の下に滅收に名を籍り我々労働者に對して巧妙なる分割的彈壓を猛烈に加へ、今や交通労働者の生活は根柢より覆へられんとしてゐる。因よりかゝる暴壓に對しては各組合に於て幾等かづゝの闘争は行はれて来たが何れも部分的闘争であつた爲に慘めにも敗北の